アデル、ブルーは熱い色（2013）

LA VIE D'ADELE
BLUE IS THE WARMEST COLOR

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス
色彩 Color
時間 179分
初公開日 2014/04/05
公開情報 コムストック・グループ
映倫 R18+

【キャッチコピー】
あの時から、
生きることは歓びになった――

【解説】
2013年のカンヌ国際映画祭でみごとパルムドールに輝いた女性同士の愛の物語。青い髪をした年上の女性と出会い、レズビアンに目覚めていくヒロイン、アデルの情熱的な愛の人生を描く。作品のテーマとともに、その赤裸々な性愛描写が物議を醸した問題作。出演は「ルルドの泉で」「マリー・アントワネットに別れをつげて」のレア・セドゥと本作の演技で一躍注目の存在となったギリシャ系フランス人の新星、アデル・エグザルコプロス。監督はこれでまでにも数々の映画賞を獲得してきた俊英、アブデラティフ・ケシシュ。
高校生のアデルには上級生の恋人トマがいたが、満たされぬものを感じていた。そんな時、髪をブルーに染めた女性とすれ違い、心奪われる。すぐにトマに別れを告げたアデル。ある夜、偶然入ったバーであの青い髪の女性と再会する。彼女の名はエマ。年上の美大生だった。知的で洗練されたエマに急速に惹かれていくアデル。ほどなく、互いに心だけでなく肉体も激しく求め合うようになる２人だったが…。

【クレジット】

監督	アブデラティフ・ケシシュ	Abdellatif Kechiche	
原作	ジュリー・マロ	Julie Maroh	『ブルーは熱い色』（DU BOOKS刊）
脚本	アブデラティフ・ケシシュ	Abdellatif Kechiche	
	ガーリア・ラクロワ	Ghalia Lacroix	
撮影	ソフィアン・エル・ファニ	Sofian El Fani	
編集	カミーユ・トゥブキス	Camille Toubkis	
	アルベルティーヌ・ラステラ	Albertine Lastera	
出演	アデル・エグザルコプロス	Adèle Exarchopoulos	アデル
	レア・セドゥ	Lea Seydoux	エマ
	サリム・ケシュシュ	Salim Kechiouche	サミール
	モナ・ヴァルラヴェン	Mona Walravens	リーズ
	ジェレミー・ラウールト	Jeremie Laheurte	トマ
	アルマ・ホドロフスキー	Alma Jodorowsky	ベアトリス
	バンジャマン・シクスー	Benjamin Siksou	アントワーヌ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.